

# 近畿税政連

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail [info@kinzeisei.jp](mailto:info@kinzeisei.jp)

第225号

平成29年(2017年)

7月10日

発行所 近畿税理士政治連盟

発行人 久保直己/編集人 小川由美子



沖縄の朝（沖縄県）

撮影：小林 邦雄（阿倍野支部）



平成27年4月1日に施行された改正税理士法では、税理士が他人に自分のハンコを貸して違法な申告代理を手助けるいわゆる「名義貸し」への罰則が、税理士業務停止の期間の上限を1年から2年に引き上げられるなど、不正への罰則強化が盛り込まれました。

このような罰則の明確化は、名義貸しにかかる事案が増加傾向にあるわけですが、この名義貸しになる基準、いわゆる法違反になる基準は次の点にあると思われます。第1に税理士本人が自分の判断で税務書類を作成していないこと、第2に納税者から直接税理士業務の委託を受けていないこと、そして最終的に業務報酬を納税者自身から直接に受けていないということになる

## 名 義 貸 し

と思います。また、会計法人を事務所に併設した税理士が、会計法人に勤務している社員（会計法人だけに所属している社員）に税務申告書作成を指示し、作成済みの申告書に押印した場合も名義貸しの対象となります。

すなわち無資格者が作成した税務申告書に署名押印することだけでも当然に税理士法違反となるわけであり、自分自身でその申告書の作成に関わり責任を持たなければならぬということです。厳密に考えると故意であろうが、なかろうが名義貸しを行うということは税理士法違反として罰され、顧客の信頼を失うことにつながることとなります。法をよく理解し名義貸しにならないよう気をつけたいものだと思います。

焦点	1
追悼 井戸本泰次副会長のご逝去に捧げる…	2
後援会ニュース	4

かんさいすずめ	11
銀河系	11

## 井戸本泰次副会長のご逝去に捧げる

近畿税理士政治連盟 会長 久保 直己

5月17日、近畿税理士政治連盟副会長の井戸本泰次先生がご逝去されました。

通夜、告別式が大阪市立やすらぎ天空館にて執り行われました。皆様ご存知の様に今年の三月までは元気に会務や税理士業務をこなしておられましたが、前回の検査では見つからなかった肺がんが進行し、僅か40日の入院期間で薬効甲斐なく他界されました。通夜、告別式には国



会議員の先生本人が18人、元国会議員の先生が2人の合計20名の与野党の先生方が参列され、また各界より1,000名の方々に弔問頂きました。会務には何時も真面目に、かつ真剣に取り組まれ尊敬された井戸本先生との突然の別れを惜しむ方々ばかりがありました。

日本税理士政治連盟においては、副幹事長として平成17年から現在に至るまで財務や政策委員長を歴任され、特に国会議員の先生方の信頼が厚く、正に税理士政治連盟を代表するロビイストとして、我々の建議要望を一つでも多く取り入れて頂けるよう野党議員の先生に働きかけ、与党議員の先生には法案として成立する様に取り組んでおられました。

近畿税理士政治連盟では、平成17年から10年間幹事長として各部委員会を取りまとめ執行頂いておりました。正に近畿税理士政治連盟には井戸本幹事長ありと言われるほど、政治に精通しておられ各地域の税理士による後援会組織も長年にわたりお世話になりました。



安倍首相に税制要望説明（於、首相官邸）

この様に今日ある近畿税理士政治連盟並びに税理士業界の発展のために長年にわたり誠に多大のご尽力を賜り偉大な足跡を残されました。まだまだ教えて頂くことも幾多もあり誠に残念でなりません。

しかしながら、私共は井戸本先生が残された足跡を礎として、先生がこよなく愛された税理士業界の発展を目指し、政治連盟として邁進してまいります。

# 井戸本先生の最後の“想い”

本年4月に発行された「日本税政連」(第528号)の「渓流」は、井戸本先生が執筆されました。永年、税政連活動に尽力された井戸本先生の「税政連」に対する最後の“想い”としてここに掲載いたします。

## 渓流

「税政連のしおり」には、昭和38年10月税政連の前身である——全国納税者政治連盟を結成——と短いガイドラインが記載されている。全国納税者政治連盟が結成された趣旨を知る税理士は少なくなつたのではないかと思われる。

昭和39年4月、税理士法改正案が第46回通常国会に提出されたが、その内容は税理士会が要望する内容とは著しくかけ離れており、初めて税理士業界として本格的な政治活動に取り組んだ年である。3年余りの反対運動の結果、提出法案は

昭和40年6月廃案となつた。この廃案に当たっては、日本税理士会連合会の役員で拘束される事態が発生した。その後、組織強化を図るために全国納税者政治連盟を改組し、日本税理士政治連盟が結成された。

環境は大きく変化し、国二つには決して選挙違反を出さないことである。選挙前の研修の強化は手抜きを防ぐうとしている。いかなる環境にあっても、税政連の使命は納税者のための民主的税理士制度の発展と、租税制度並びに税務行政を確立する政治活動である。国会議員がよく口にする常在戦場を忘れ

## 温故知新

この運動からその後の税政連の基本理念の多くが形成された。一つが業界団体代表形式の国會議員だけを支援せず、多くの国会議員に税理士制度について理解を深めていただくことによって税理士制度の発展の経験値を活かし、その後の税理士会員から信頼される組織となる。

三つには、各業間の日本からのコミュニケーションの大切さである。一番大切な学びは、行政との信頼関係の醸成である。これらは、行政との信頼を税政連役員一同が共有する気概を持ってこそ全国の税理士会員から信頼され

## 近畿税理士政治連盟

# 第51回 定期大会

日時：平成29年9月15日(金)13時～  
場所：帝国ホテル大阪

## 後援会ニュース

### 福山哲郎後援会

税理士による福山哲郎後援会の第14回総会が4月24日に京都ホテルオークラにおいて開催された。来賓として、福山哲郎参議院議員、近税政本部より田達満幹事長、大村恵美子相談役、原綱宗総務会長、京都府支部連より室谷澄男会長、坂部浩幹事長、近税会より北村善和副会長、石原牧常務理事、前原誠司後援会より吉澤俊二会長、泉健太後援会より谷明憲会長、植田順幹



事長がそれぞれ出席した。

総会に先立って、作見藏市会長が「昨年7月の選挙では4回目の当選を果たすことが出来た。会員の皆様には、電話当番などで大変お世話になり感謝している。今回はトップでの当選はならなかつたが、党の幹事長代理として活躍されている福山議員はもちろん、民進党を今後とも応援していただきたい」とあいさつをした。

芦田勝博幹事長より提案された議事は満場一致で可決承認され、6年後の選挙に向けた活動方針が示された。

福山議員の国政報告会では、最近話題となっている事件について、問題点の説明があった。また、当面の政治課題として、外交・安全保障問題である北朝鮮、シリアなどの情勢、また経済分野ではアベノミクスなどについても言及した。

懇親会では、時間の許すまで会員と親しく意見交換を行った。 (上京支部 矢田善久)

## 大西ひろゆき後援会

5月12日、心斎橋の中華料理大成閣において「税理士による大西ひろゆき後援会第一回の定期総会と懇談会」が開催された。



総会に先立ち近税政大阪府第一支部連合会の今井基剛会長の司会で近畿経済産業局中小企業課課長の山本哲弘氏が「最近の中小企業・小規模事業者施策について」という演題で中小企業・小規模事業者の現状及びその政策の基本的な方向性について詳細なデータに基づき話があった。

総会の司会は松田昭久会員のもとに、同後援会の若林日出紀会員が開会のあいさつをした後、議長に選任され、平成28年度事業報告および収支報告、平成29年度事業計画および収支予算の上程をして、いずれも滞りなく可決承認がされ、今後とも近税政の運動方針に則り強力な選挙支援体制を構築することを決議した。

近税政からは久保直己会長、田達満幹事長が出席した。

大西ひろゆき議員からは消費税の今日的課題、憲法改正やテロ等準備罪、働き方改革、陛下のご譲位問題などについて国政報告があった。また生野区が衆議院の区割り変更の影響により大西議員の選挙フィールドから外れることに危機感を示した。

引き続き懇親会が開催され、終始和やかに盛会裏に終了した。

(天王寺支部 倉矢 勇)

## 泉ケンタ後援会

税理士による泉ケンタ後援会平成29年度総会が、5月13日からすま京都ホテルにおいて開催された。来賓として、泉ケンタ衆議院議員、近税政より原綱宗総務会長、京都府支部連より室谷澄男会長、坂部浩幹幹事長、税理士による福山哲郎後援会より作見藏市会長、芦田勝博幹事長が出席した。



小山敏後援会副幹事長の司会により開会し、谷明憲後援会会长より「これから政治家は人物で選ぶ時代だ。議員は身近に話せる国会議員であり、今後も引き続き応援していくので、日本の将来の舵をとっていただきたい」とあいさつがあった。

総会後、原総務会長より泉議員への激励のあいさつ、室谷支部連会長より、社会保障、景気回復をお願いするなどの来賓あいさつがあった。

泉議員による国政報告では、現状の様々な問題に触れながら「政権交代が可能な政治にしていきたい。政治家を目指すものは、権力の座に就くことを目的としてはならない。税政連は、きめ細かな内容での陳情を活発にしている。税制改正にも取り組んでいきたい。攻撃や追求だけでは支持は得られない。リスクを回避し、自社の商品開発を行い、宣伝していくことによって支持が得られるよう今後も一生懸命頑張っていく」と述べた。

作見会長の乾杯で懇親会が始まり、泉議員の人柄に触れ、親しく有意義な意見交換を行った。

(右京支部 吉田和之)

# 設立50周年 協力募金 ご協力に感謝いたします

平成29年6月15日までに、以下1203人の会員先生方にご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

[東支部]	櫻井精四郎 佐藤 善恵 佐名木定夫 佐野 八朗 志賀 恒元 杉 孝一 瀬川 昇 關 典人 關 稔 高岡 啓介 竹原 重光 田多 理 田中 祥宏 谷口 和夫 田村 守 塚田 良幸 出口 源太 小田原岸夫 折井 宏 加賀城 健 掛 善秀 加藤 正親 金井 博基 金谷 昌恭 金子 秀哲 河合 晃男 河嶋 達 川人 正孝 勘場 義明 北川 茂実 北田 全基 北野 慎二 清澤 由己 日下 敏彦 耕 泰一郎 小林 佐敏 小山 史郎 是川 武士 衣目 修三 衣目 成雄 近藤 雅人 坂本 芳博	三田村善生 宮本 和雄 森下巳代治 岩本 芳一 山田 一彦 矢本 博三 弓場 和佐 弓岡 俊文 横山 武宏 吉川 勝 吉田 公也 吉塚 健 和田 勝弘 田中 祥宏 安藤 修身 石井 基行 大庭 萬三 木村 守夫 土佐 和史 戸島 利夫 中松 慎吾 中山繁太郎 中山 準一 樋崎 隆章 西野 恕 新田 実 則枝 征克 春好 崇樹 平口 穎 藤井幸三郎 藤田 洋 藤田 義則 寶官 一磨 本田 昭吉 前橋 義明 増田 和彦 桝家 小鈴 松岡 大藏 松原 博吉 松本 常裕 丸山 澄高 三谷 智	淺田 治爾 猪飼 哲也 池内 國雄 岩本 武士 上野 和雄 上野 義雄 宇都宮 正 宇都宮久嗣 大坂 雅己 大西絹吾郎 榮村 聰二 奥田 順 加幡 修 川口 晃司 北川 貴敏 北原 慶光 北村 慶和 木原美津恵 國分 博史 古寺 均 笠田 淳 貞方 建吾 城垣圭一郎 甚田 隆康 杉本 和裕 須田 忠義 竹田 三徳 辰巳 正純 谷口 彰 谷口 輝則 辻本 正昭 出口 忠伸 中川 修 中川 諭 中谷 健作 岡田 武忠 新名 徹 曾谷 敏勝 西村 典雄 秦 雅彦 松本 昭二 山本 憲一 [南支部]	森川 優 山科治三郎 吉田 節子 吉田 太三 吉本 利夫 若林日出紀 宇都宮 正 岩橋 一好 内海 清次 榮村 聰二 柏山 行雄 下間 茂 竹田平八郎 中谷 裕之 北川 貴敏 北原 慶光 北村 慶和 木原美津恵 國分 博史 古寺 均 笠田 淳 貞方 建吾 城垣圭一郎 甚田 隆康 杉本 和裕 須田 忠義 竹田 三徳 辰巳 正純 谷口 彰 谷口 輝則 辻本 正昭 出口 忠伸 中川 修 中川 諭 中谷 健作 岡田 武忠 新名 徹 曾谷 敏勝 西村 典雄 秦 雅彦 松本 昭二 山本 憲一 室田 一榮	武智 寛幸 玉城 祥啓 辻 弘 辻村登志子 中島 嘉文 中瀬 進一 中瀬 令造 中野 洋 那須 弘敬 根來 直代 橋爪 功次 林 哲郎 林 由美子 原 仁一 原 仁司 檜垣 典仁 藤原 伸彦 森 英雄 芦田 和典 阿部 泰生 石井 國男 井上 悅治 今仲 保郎 大高 俊生 大橋 生佳 岡山 榮雄 岡山 荣一 岡山 勝 川崎 哲之 川瀬亮太郎 木原 義和 木原 義和 中川 修 中川 諭 中谷 健作 西宮 宣之 平井 慶一 藤岡 直吉 北條 慶子 堀 裕彦 松原 庸晃 松原 五平 松本 五平 高田 道啓	市川 義人 井上 義英 今中 德治 小山田 明 加賀 八郎 木下 泰三 古賀 幹雄 佐藤 裕之 佐藤 正尚 鯖戸 正造 杉上七三夫 首藤 忠正 鷲見 昭雄 武田 正徳 徳井 正浩 西田 隆郎 西山 芳樹 野津香代子 早崎 允清 福田 平司 堀田 治 堀田 裕子 前川 武政 松浦 圭子 松岡 昭 松下 隆信 八木 昭 八木 春作 矢野 嚴 [西淀川支部] 入江 壽夫 入江 桃子 酒井 勇樹 未永 義孝 田里 眇 土本 拠美 仲田むつみ 矢野健太郎 [東淀川支部] 中田 隼人 中村 忠司 山神 清二 石橋 幸二 大西 賢藏
-------	--	---	--	--	---	---

小形 俊夫	小寺 隆弘	稻田 繁	小川由美子	山村 三郎	石津 良行	伊藤 憲司
金子 重二	駒井 良一	今井 基剛	澤渡 聰謹	[西成支部]	石橋 明史	井上 宗保
神吉 康史	佐藤 博幸	上西左大信	高木 康之	小倉 文彦	井筒 潮	上田 光臣
酒井 博史	中尾 一仁	内田 伸男	文字 和毅	楠本 雅一	上西 知	上田 光隆
酒井 庸造	原 洋二	岡本 春市	吉岡 富雄	茶山 了悟	金田 光世	臼間 真次
高瀬 久一	広瀬 芳和	岡本 好正	渡邊 治男	中山 彰	澤井 曼治	大谷富太郎
武田 明	宮本 俊弘	奥 光明	[東成支部]	藤本 正人	嶋田 薫	岡田 良次
坪久田 登	山本 九一	小野原 剛	下河内邦彦	[住吉支部]	嶋田 新一	樺木 正人
中尾 元信	[枚方支部]	折井 卓	中山 寿光	秋山 利元	砂本 清	久富木啓介
中村 靖弘	石橋 忠	金山 満博	原田 徹	池上 弘美	高岡 稔	栗田 健吾
長谷川 達	石原 紀一	北浦 純也	保泉 幸雄	泉谷 栄二	高田 哲三	柴田 正吉
平野 隆照	大森 正	久木田宣昭	横井 郁忠	沖 建一	辻本 博美	高澤 信也
藤原 浩	大森布実子	倉矢 勇	[阿倍野支部]	金井恵美子	中口 哲久	高松 慶暢
松田 英夫	岡本 重正	米谷 忠俊	恵納 務	北川 匡祥	中下 寛治	竹内 芳彦
森本 好昭	酒井 敏行	坂上 行男	片山 功	仕田原恒雄	中村 智之	忠岡 博
山片 聖司	島津 聰	坂口 明久	片山 拓	下野 三郎	野呂 怜子	谷田 勝彦
山村 行仁	竹原 正和	嶋仲 直隆	片山 充	瀬古 順子	濱田 明久	西尾 重則
山本多通男	田中 克実	菅原 宏平	小林 邦雄	田中 圭子	平野 恵俊	西川 喜巳
[旭支部]	田邊 誠	妙中 茂樹	斎藤 良介	田 達満	広村 孝司	八文字正裕
赤松由里子	太矢 努	高橋 孝志	杉本忠三郎	柳本彌四郎	藤村 恭弘	平林 誠
旭 輝明	中川良比古	高橋 康人	瀬戸 繁治	中野 雅司	藤本 幸三	福森 哲二
天野香鶴子	中谷 廣一	田中 保雅	高橋 賢二	中野 雅司	政本 彰人	本田 浩基
五十嵐良子	橋本 光世	辻本 好広	千村 高司	西村 敏之	松田 章	水ノ上成彰
上田 初幸	林 武	徳 芳郎	佃 幸祐	橋本 良弘	松本 哲也	宮前 紀昭
上田 実	平松 正幸	中尾 隆彦	西山 孝司	服部 行男	八木 隆行	宮前 雅典
上村 京勲	福田 敏彦	中川 欣哉	橋森 宣正	廣瀬 昌子	安田 有一	森 敏則
大久保一成	藤原 和彦	苗村 正弘	東畠 憲明	外園 善弘	山口 秀秋	山口 忠芳
加賀 元久	道廣 友厚	南口 純一	道野 充宏	増田 和博	山口 正輝	渡辺 秀介
河内 永子	道廣 裕子	西山 正彦	宮本 玲子	松本 正昭	雪松 茜	[泉大津支部]
久木野正志	[門真支部]	橋本 香世	山脇 守	森本 勝志	雪松 弘	石谷 秀志
小山 利巳	大崎 正博	廣川 太	結城 順吉	竈内 重人	弓手 宏亮	大西 博己
上保 博	大志万泰範	松岡 寿子	若原 國宏	山下 孝士	吉城 鉄也	幸野 陸紀
高田 裕久	神原 隆雄	的場 勝	[東住吉支部]	山下由美子	吉城 直孝	阪 広久
辻 浩司	久保田金次郎	的場 良太	鮎川 純利	大和 司	吉田 信次	高岩 弘至
中川 耐	志水 龍起	美甘 博義	荻堂 直樹	[富田林支部]	米満 信昌	原 正人
中川 正治	菅原 正治	山田 榮一	岸村 次郎	栗田 豊滋	[八尾支部]	阪東 寛
中島 正悟	谷口喜久雄	山田 裕一	桑野 秀朗	後藤 淑子	小柳 徳夫	南 四郎
新田 博之	寺澤 昭洋	山本 敬三	坂井 純造	瀧藤 憲彦	小林 昭一	[岸和田支部]
春名 建吾	中島 勤	山本 哲三	佐々木達郎	段野 隆弘	杉井 卓男	蘆原 賢一
松井 光浩	中野 喜文	脇阪 説男	笹野 博文	辻本 勇	八田 光子	北野 信成
三瓶 智美	並木 正次	渡部 ヒサ	天雲 浩一	中村 三男	平田 進一	木戸 伸男
見浪 一敏	平尾 和夫	[生野支部]	新居誠一郎	瀬 幸一	増田 翔	清原 正治
宮下 公司	吉川 武男	池田 清明	西田 範雄	東潟 正治	大和 剛	坂口 和代
室田 延孝	吉田 謙一	池田 隼啓	長谷川孝夫	平山登志雄	[堺支部]	白井希久枝
山田 忠良	[天王寺支部]	池田 啓朋	日野上達也	松尾 直城	東 俊夫	田中 一志
[城東支部]	浅田 恒博	井上 準治	福田 尚武	松尾 八郎	安藤 治彦	寺井 秀次
尾崎 浩文	石原 健次	今榮 雅英	福山 隆之	[東大阪支部]	池田 茂雄	永橋 利志
河田 秀雄	井戸本恭次	岩崎 喬	南野 喜徳	石賀 良明	池田真由子	藤原 博文

森田 敏裕	宮口 太	守部 浩二	北村 善和	村山 龍夫	赤松 健二	[長田支部]
森本巳代治	宮田 義見	米田 稔	京極 義雄	[伏見支部]	石谷全治郎	内田 公章
山田 晴彦	村上 健司	和田 浩孝	後藤 康介	赤岩 綾	伊藤 勝皓	岡田 洋祐
吉田 英明	本西登志子	[上京支部]	笹岡 憲一	石川 清	今井 廣正	光齋 信治
和田 章	森下 忠志	東 智之	志田 育夫	市川 晃	入江 順也	佐藤 信夫
[泉佐野支部]	山内 幹雄	伊藤 正夫	島 陽子	植田 順	岩木 秀臣	下田 順司
川畠 行輝	吉川 一夫	大西 康之	竹村 一志	岡部 智弘	岩木 英一	高井 秀樹
木戸 朋宏	吉永 直也	奥村 和義	土井 充	幡山 玲子	大城戸武子	福田 隆彥
坂本 博文	[吹田支部]	堅田千恵子	富村 将之	林 光伸	岡本 浩明	横井 保夫
田中 洋	東 秀夫	河村 吉宏	西田 昌司	[宇治支部]	加古 雅男	[芦屋支部]
谷口昇一郎	大川 清見	小西 嘉次	橋本 清治	井上 玲子	川岸 司	岡田 洋
呑海 英治	岡本 昌平	近藤 明夫	原 綱宗	今西 正二	壽 信明	開発 一三
脇馬 義宏	小倉 育	藤田 一裕	山崎 武義	大高 友紀	坂井 昭彦	垣見 正孝
松浪 武久	金子 薫	北條 巍	横江 治康	岡田 文彦	清水 明	柏木 勝志
眞鍋 光廣	高木 晴雄	北條 達人	[右京支部]	片野 曜弘	鈴木知津雄	蝉川 寛嗣
和中 信隆	田畠 宏	松村 一郎	石原 牧	小泉 彰孝	竹中征二朗	寺内 設昭
[茨木支部]	玉井 敬尚	三宅 崇史	今西 衛	小泉 孝一	樽井 博	寺内 華子
伊月 圭子	蓮池 章弘	室谷 澄男	上棕 精二	佐川 貞夫	寺崎 明	中村 良介
伊藤 良昭	平山 直樹	矢田 善久	河合 典之	高瀬 哲也	永野 卓美	南木 二郎
稻見 宗彦	前田 秀雄	山畠 文雄	岸本 郁男	樋口 敏夫	西馬 正義	橋本 潤子
今中 英雄	[豊能支部]	渡邊 重樹	九鬼 郁雄	松本 樹也	西原 靖夫	藤原 克彦
小國 英男	安積 重和	[中京支部]	下林 忠夫	湯浦 正信	森 優子	光永きみ子
鎌田久美惠	井関 孝之	芦田 勝博	谷口 康夫	[園部支部]	山本 芳彦	村松 公人
川中 雅人	上野 弘之	岡松 聰	中江 嘉和	関本 孝一	和田 善弘	森本 康正
北村 良雄	衛藤 雄次	香川 恭子	藤田 高広	平井 明彦	[灘支部]	山本 雅一
榎山 京子	太田 昌男	金谷 俊昭	船越 善博	松岡 保彦	池田 進	[明石支部]
笹原 克重	大西 尚史	河原林温朗	山根木雅也	八釣 重雄	池田 直樹	河合 正美
杉山 孝一	荻野眞由美	小坂 文夫	吉田 和之	[福知山支部]	岡村 景明	川本 正明
太尾田 博	奥村 量之	坂部 浩	[左京支部]	安達 寛司	高見 悟	北村 光子
高岸 久典	小島 隆	佐々木栄美子	井戸 忠夫	小笠原 勉	長谷川隆史	田中 勇治
高林 克行	座間 昭男	皿木 秀明	井戸 巳之	岸本 雅生	[須磨支部]	徳富 黙
武田 信央	芝 宏	土居 澄江	河村 澄子	衣川 憲治	稻澤 伸哉	西木 秀和
土井原弘司	関谷 洋子	土井 趹	北村光一郎	塙見 満	奥田 一弘	三浦八重子
仲 猛夫	高砂 昭宏	中村 清之	谷松 普史	清水 靖昭	黒田 偉之	[加古川支部]
長井 良明	武部 俊和	中村 裕人	二股 茂	細見 均	長田 義博	有村 昌紀
中澤 保恵	田中 啓允	日向 明泰	村中 研治	[宮津支部]	中野 裕之	小川 幸夫
中西 邦彦	土橋 哲夫	福島 重典	山田 正克	糸井 正樹	杏田 裕顯	阪口 正
中村 憲次	中西 節子	松本 安弘	吉澤 俊二	山添 謙三	[兵庫支部]	坂下 雅一
中村 光子	間 茂彦	村井 淳一	[東山支部]	山井 嘉文	石田 高雄	中島 省悟
蓮池 清志	林 宏昭	[下京支部]	石田 善久	[舞鶴支部]	今中 一壽	西尾 景雄
服部 好伸	平安 式作	荒尾 正久	倉重 由幸	上原 正夫	鐘ヶ江利晴	藤原 千明
廣瀬 隆一	平山 高明	井上 敏男	作見 藏市	片又 昇	北野 参則	[西宮支部]
廣田 孝一	藤阪 保文	上田 浩嗣	佐々木高明	松下 弘	高須 益生	入江 洋
藤井 信行	舛田 定子	上田 寛	重田 公啓	山田 忠雄	多鹿 秀夫	浦濱 勇
古屋 秀典	三木 康彦	海来 美鶴	中田 久弘	[峰山支部]	二川 和良	木下 博夫
本田 武士	光成 創	榎 和哉	中谷 隆夫	林 同来	本間 徹	木下 雅晴
松尾 康弘	村木 貞志	岡本 正	藤岡 忍	[神戸支部]	前田 得雄	久保多佳子
松岡 久枝	森田 茂稔	神緒 美樹	藤原 俊文	相内 隆作	三谷 憲正	小塩 明

阪上 恭一	[洲本支部]	[相生支部]	郡 和世	木村 雅彦	片山 孝之	田村ひさ子
指田 文雄	隈下 佳剛	津村 孝博	近藤 洋	後安 宏彦	佐竹 節夫	東郷 修
沢田 実	羽田 久晃	細川 昇二	齊藤 勝久	小谷 匠	原 均	中川 徳親
近田 勝介	真野 耕治	森 重行	赤築 伸久	小西 里枝	南川 敦	中島 誉子
東耕 功	[姫路支部]	森 正春	杉垣 輝樹	齋藤 恒明	[田辺支部]	西村 宏
友松 悅子	石田 陽崇	[豊岡支部]	田中 俊男	下林 善信	池田 達夫	橋本 淳
中寄ゆか里	一井 正彦	池口 達生	棚田 敏正	田中 康麿	尾崎 幸宏	増井 常夫
永田 清行	上野 政則	亀村 亀雄	田村久美子	田中 佳則	中谷 聰	村田 正和
長沼 隆弘	小笠原公昭	北見 龍彦	辻井 賢博	津村 真吾	松本 順子	保井 順喜
西山 幸一	尾上 誠一	[和田山支部]	出川 洋	刀祢 真大	溝端 昭雄	[水口支部]
野畑 英孝	折山 正	能見洋八郎	富井 信顯	内藤 博次	[新宮支部]	井上美智江
松下 好式	梶本 良祐	[奈良支部]	中川憲二郎	西岡 義高	柳川 弘	今村 新壱
村田キヨ子	川内 保幸	青木 幸子	中島 誠	西川 宏	[大津支部]	木田 嘉明
森本 幸子	北岡 昭	今崎 善彦	西田 吉富	西本 和生	安藤 大輔	鈴木 勝博
八重垣宏司	後藤加代子	岩本 洋二	藤田 徹	額田 朋子	伊藤 孝夫	山本 善通
横山 文彦	澤田 樹	上松 康員	丸田 隆英	野志 幸雄	今井 正人	[近江八幡支部]
[尼崎支部]	澤田 千博	大平 浩司	三谷 清重	野田 馨	小倉 一訓	上野 安徳
岩泉 周治	島本八洲弘	大村恵美子	山本 真市	服部 潔	織戸 英信	大林 傳治
岩泉 恒屋	城谷 崇敬	景山 良一	吉田 廣彰	速水慎一郎	金子 紀行	奥村 達之
川上 厚紀	竹之内 清	亀井 常可	[吉野支部]	藤原 剛治	川嶋 喜弘	川添 渉
岸野 正信	内藤 強	北村 吉春	里田 好	藤原 光男	北浜 靖朗	川並 和平
佐藤 寛	永尾 清貴	黒田 有紀	谷 正仁	堀 博充	木下 三郎	小西 良一
佐茂 省治	中野徳治郎	島田 明	[桜井支部]	水城 斎美	久保 卓巳	左近 和男
辻子 房子	中野 真	新屋 珠美	岩田佐起子	水城 実	久保 直己	澤田 匡央
西浦 文彦	西村 靖彦	新屋 昇	杉本 幸弘	宮下 良一	高細 和行	嶋林 博之
早草 茂	西本美喜雄	団司 節生	高田 純吉	山中 盛義	中西 知行	西村 純史
三島佐和子	橋本 敬司	武野 勝文	高田 雅信	山本 修司	畠山 譲治	西村 典夫
宮本 信一	藤岡 保	谷口 晴康	谷口 好克	湯川 直樹	畠山 昌輝	久村 和恵
森川 幸敏	松岡 託宏	徳久亮太郎	西峯 慶子	[海南支部]	林 繁里	肥田美重子
山陰 雅史	山下 哲	中垣 安嗣	密井 和子	加藤 正彦	松尾 宏文	堀 真澄
百合草裕康	山本 清尊	中嵩 大	[和歌山支部]	岸 友子	横井 昭次	宮川 憲治
百合草陽子	[三木支部]	中谷 英適	淡路 満	中尾 彰	横井 慎也	山本 治三
吉田 彰宏	鷺見 英二	西 親教	石川 泰廣	橋爪 康樹	和澤 清隆	[彦根支部]
若原 昭	藤本 清	西川 孝敏	石倉 睦斗	宮尾 文也	[今津支部]	櫻田 金造
[伊丹支部]	[西脇支部]	濱田 武利	鵜島 幸夫	矢本 浩之	川上 長和	辻 哲雄
伊田 憲司	池田 博文	村田 昭	内原 健	[粉河支部]	河原田新市	西堀 勝美
岡田 彰徳	後藤喜代司	山本 智美	大住 文夫	池田 明美	小畠 雅人	松本 幸雄
小田 長正	園崎 仁	山本 佳史	大谷 彰秀	花卉 敏晋	辻 剛	三輪 和宏
永岡 英信	橋尾 哲夫	[葛城支部]	大西 省悟	森村 透	戸次威左武	[長浜支部]
畠中 啓三	[社支部]	新子恵美代	大森 文男	山本 孝宏	[草津支部]	河上 喜全
林 文彦	黒石 淳司	乾 裕俊	岡野 良平	[湯浅支部]	浅井 庄平	小高 寛三
山口 正	吉田 稔	岩崎 和夫	勝田 晃夫	井谷 福市	小澤 康宏	篠原 一儀
[柏原支部]	[龍野支部]	岩崎 年秀	金岡 孝明	成田 誠治	上西 祥之	中川 高志
梅澤 正義	稻田 実	菊川 信子	川口 昌紀	沼田 信也	閔 輝男	本城 善男
田原 義朗	大谷 充廣	木下 徳一	川邑 宗司	[御坊支部]	鷹羽 稔郎	
西田 春夫	酒本 浩佳	久保 正義	木村 尚之	石永 善裕	田中 正志	

※設立50周年協力募金につきましては、6月30日をもって、受付を終了させていただきました。

※最終の集計につきましては「近畿税政連226号（平成29年8月号）」に掲載いたします。

KINZEISEI

## トップを飾る写真を募集しています

近畿税政連では、次の写真を募集しています。

①近畿税理士政治連盟HP (<http://www.kinzeisei.jp/>)  
のトップページの写真  
テーマ：「近畿地方のお城」

②機関紙「近畿税政連」の表紙写真  
**自由作品**（季節性や話題性のあるものなど）

※作品の版権は近畿税理士政治連盟に帰属し、利用させていただきます。  
※作品は未発表作品に限ります。

応募先

- ・メール（データ）で提出される場合は、作品と「名前・支部名・登録番号・写真タイトル」を記載の上、[info@kinzeisei.jp](mailto:info@kinzeisei.jp)まで送信してください。
- ・現像で提出の場合は、作品裏に「名前・支部名・登録番号・写真タイトル」を記載の上、下記まで郵送してください。  
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館5階 近畿税理士政治連盟 広報委員会 行

1 ▶ 1A



### 第5回

# 『川柳』・『書道』コンテスト

応募締切のお知らせ

第5回「川柳」・「書道」コンテストは、6月16日をもつて作品応募を締め切りました。たくさんのご応募ありがとうございました。

審査結果の発表、表彰式等につきましては、9月中旬を予定しております。

また、入賞作品は、平成30年新年号に掲載いたします。

## 税理士制度の本質

税理士の仕事とは何か?と聞かれると税務の専門家と言えると思います。次にもう少し細かく内容をいうと、税務代理、税務書類の作成、税務相談となります。では税理士になるには、どういう方法があるのか?と聞かれると、私は迷わず税理士試験に合格することと答えます。

しかし現実には、税理士登録者の構成をみると、試験合格者が45%、試験免除者が34%、税務署等特試が7%、公認会計士が12%、その他となっている。但し一番構成比の高い試験合格者の一部には、大学院で一部科目免除者も含まれている。

本来、税理士の仕事をするには国家試験である税理士試験に合格しなければならないか、前述の如く、一部或いは全部の免除によって税理士の資格を取得できるのが、現行の制度です。

では、今一度税理士試験とは何かを改めて考えてみたいと思います。

税理士試験とは、税理士という仕事をしていく上での資質を試されるという、紛れもなく篩(ふるい)にかけられて選別される制度です。

以前、税理士制度の改正にあたって公認会計士のみをターゲットにしてもっと厳しくしていくべきだと議論していたが、なぜ会計士ばかりが言われるのか疑問でした。また、公認会計士の短答式の試験も、大学院で会計を学べば、8割免除だと聞きました。今一度、税理士の試験とは何かをじっくり考えていただきたい。



(姫路支部 上野政則)

## 近税政本部のうごき

### ○第6回広報委員会(6月12日)

- ・機関紙第223号(5月号)および第224号(6月号)の批評
- ・機関紙第225号(7月号)の編集に関する件
- ・機関紙第226号(8月号)の編集企画に関する件 他

## 会費納入は

□ 座 振 替 で

申し込みは事務局(06-6944-9040)まで

最新情報はホームページにアクセス!

近税政

検索

または <http://kinzeisei.jp/> へ

会員専用ページのパスワードのお問い合わせは事務局まで

## 銀河系



国民投票法をご存じだろうか。正式には「日本国憲法の改正手続に関する法律」と言う。平成22年5月18日に施行、一部改正が平成26年6月20日に公布・施行されている。国民投票の選挙権は、年齢満18歳以上の日本国民が有するが、投票日が平成30年6月20日までの国民投票においては、年齢満20歳以上の者となる。国会議員より憲法改正案の原案が提案され、衆参両議院それぞれの憲法審査会で審査の後、本会議に付され、両院それぞれの本会議にて3分の2以上の賛成で可決した場合、国会が憲法改正の発議を行い、国民に提案することとなる。憲法改正発議をした日から起算して60日以後180日以内において、国会の議決した期日に国民投票が行われ、賛成の投票の数が投票総数の2分の1を超えた場合に、国民の承認があったものとされ、憲法改正の公布手続きがとられる。

(右京支部 吉田和之)

「表紙」題字:「第4回川柳・書道コンテスト」書道テーマ部門 最優秀会長賞作品

(作=小倉さやか 上京支部)

# 阪奈税協

ホームページを活用ください



<http://www.hanna-zeikyo.jp>

組合員専用ページのご案内

専用ページご利用にはHPへの会員登録が必要です



研修会申込・ライブラリー閲覧・  
レジュメダウンロード



書籍購入(15%OFF)

※一部出版社のみ取扱い  
一律送料は各出版社で適用  
(10冊以上または16,200円(税込)以上で送料無料)



組合員価格での家電・  
事務用品・生活雑貨の購入



希望書籍等の無料配布  
Web申込(受付期間中のみ)

その他、組合組織や活動状況、広報誌の閲覧、関係団体及び提携企業の情報提供窓口、各種事業の案内など、さまざまなコンテンツがご利用いただけます。

お問い合わせ

TEL : 06-6941-6888 (阪奈税協事務局)



## 大阪・奈良税理士協同組合

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4(近畿税理士会館11F)

TEL(06)6941-6888 / FAX(06)6947-2800

URL : <http://www.hanna-zeikyo.jp>